

7期計画における数値目標の状況(令和5(2023)年3月31日現在)

【表の見方】

比較結果欄には、ベースライン及び目標値と比較した直近値の状況を表示しています。

目標値以上
ベースライン超
ベースライン程度
ベースライン未満

なお※印について、ベースライン以降の直近値が未定であるものは、比較結果を未記入としています。

1 5疾病

注 直近値がないものは※としている。

疾病名	目標項目	ベースライン	直近値	目標値	比較結果	備考			
(1)がん	① がん検診の受診率(注)	胃がん	43.2%	43.4%	50%以上		(注)胃がん、大腸がん、肺がん、乳がんは40-69歳、子宮頸がんは20-69歳		
		大腸がん	44.3%	47.2%	50%以上				
		肺がん	51.9%	54.3%	60%以上				
		乳がん	48.2%	50.0%	60%以上				
		子宮頸がん	44.0%	43.8%	60%以上				
			(2016年)	(2019年)	(2023年)				
	② 精密検査の受診率(注)	胃がん	81.5%	85.6%	90%以上		(注)胃がん、大腸がん、肺がん、乳がんは40-69歳、子宮頸がんは20-69歳 ベースラインの数値は、「H28(2016)年度栃木県健康診査実施状況調査」からH26(2014)年度を受診率を設定		
		大腸がん	70.5%	64.7%	90%以上				
		肺がん	81.1%	85.0%	90%以上				
		乳がん	85.4%	91.9%	90%以上				
		子宮頸がん	84.5%	86.5%	90%以上				
			(2016年度)	(2020年度)	(2023年度)				
	③	個別検診実施機関に関する事業評価の実施市町数(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん)	0市町	0市町	全ての市町				
			(2015年度)	(2022年度)	(2023年度)				
	④	緩和ケア研修会修了者数(拠点病院等以外の施設の医師・歯科医師)	272人	298人	500人以上				
		(2017年度)	(2022年度)	(2023年度)					
⑤	がんの治療等のために通院しながら働き続けられる環境にあると思う県民の割合	25.9%	25.00%	50%以上					
		(2016年度)	(2022年度)	(2023年度)					
(2)脳卒中	① 特定健診・特定保健指導の実施率	特定健康診査	48.1%	52.2%	70%以上				
		特定保健指導	19.0%	26.6%	45%以上				
			(2015年度)	(2020年度)	(2023年度)				
	②	発症後3時間以内に受診した患者の割合	37.5%	40.0%	50%以上				
			(2016年)	(2022年)	(2023年)				
	③	脳卒中中で在宅等生活の場に復帰した患者の割合	58.1%	60.4%	65%以上				
			(2014年)	(2017年)	(2023年)				
④	発症後3日以内にリハビリテーションを実施した患者の割合	66.0%	80.2%	75%以上					
		(2016年)	(2022年)	(2023年)					
⑤	脳卒中発症登録に占める再発者の割合	22.9%	22.8%	20%以下					
		(2016年)	(2021年)	(2023年)					
⑥	脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	男性	49.1	※	全国値以下				
		女性	28.5	※	全国値以下				
		(2015年)		(2023年)					
(3)心筋梗塞等の心血管疾患	① 特定健診・特定保健指導の実施率	特定健康診査	48.1%	52.2%	70%以上		(2)①再掲		
		特定保健指導	19.0%	26.6%	45%以上				
			(2015年度)	(2020年度)	(2023年度)				
	②	虚血性心疾患で在宅等生活の場に復帰した患者の割合	94.9%	93.0%	100%				
			(2014年)	(2017年)	(2023年)				
	③ 心筋梗塞等の心血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	急性心筋梗塞	男性	19.7	※	全国値以下			
			女性	8.2	※	全国値以下			
				(2015年)		(2023年)			
		大動脈瘤及び解離	男性	7.8	※	全国値以下			
			女性	4.1	※	全国値以下			
			(2015年)		(2023年)				
心不全	男性	13.2	※	9.9以下					
	女性	9.6	※	7.0以下					
		(2015年)		(2023年)					

(続き:5疾病)

疾病名	目標項目	ベースライン	直近値	目標値	比較結果	備考	
(4)糖尿病	① 特定健診・特定保健指導の実施率	特定健康診査	48.1%	52.2%	70%以上		(2)①再掲
		特定保健指導	19.0%	26.6%	45%以上		
			(2015年度)	(2020年度)	(2023年度)		
	② 糖尿病患者数		55,000人 (2014年)	83,000人 (2020年)	65,000人以下 (2022年)		調査の集計方法変更により、ベースラインと直近値の比較不可
	③ 治療を継続している糖尿病患者の割合		67.8% (2016年度)	※	100% (2022年度)		
	④ 血糖コントロール不良者*の割合 *HbA1c (NGSP値) 8.4%以上		0.5% (2016年度)	※	0.5%以下 (2022年度)		
⑤ 糖尿病腎症による年間透析導入患者数		284人 (2016年)	282人 (2022年)	230人以下 (2022年)			
⑥ かかりつけ医と連携した糖尿病重症化予防に取り組む保険者数		8保険者 (2016年度)	30保険者 (2021年度)	保険者の半数以上 (2023年度)		平成28(2016)年度の栃木県保険者協議会構成保険者数は42 糖尿病重症化予防プログラムのうち保健指導に取り組む保険者数を計上	
(5)精神疾患	① 精神病床における急性期(3か月未満)入院需要(患者数)		674人 (2014年度)	614人 (2021年度)	686人 (2020年度)		
					693人 (2024年度)		
	② 精神病床における回復期(3か月以上1年未満)入院需要(患者数)		593人 (2014年度)	501人 (2021年度)	613人 (2020年度)		
					616人 (2024年度)		
	③ 精神病床における慢性期(1年以上)入院需要(患者数)		3,344人 (2014年度)	2,806人 (2021年度)	3,029人 (2020年度)		
					2,395人 (2024年度)		
	④ 精神病床における慢性期入院需要(65歳以上患者数)		1,728人 (2014年度)	1,604人 (2021年度)	1,738人 (2020年度)		
					1,439人 (2024年度)		
	⑤ 精神病床における慢性期入院需要(65歳未満患者数)		1,616人 (2014年度)	1,202人 (2021年度)	1,291人 (2020年度)		
					956人 (2024年度)		
	⑥ 精神病床における入院需要(患者数)		4,611人 (2014年度)	3,921人 (2021年度)	4,328人 (2020年度)		
					3,704人 (2024年度)		
	⑦ 地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)		-	538人 (2021年度)	401人 (2020年度)		③におけるベースラインから直近値の減少分＝地域移行された者
					1,057人 (2024年度)		
⑧ 地域移行に伴う基盤整備量(65歳以上利用者数)		-	124人 (2021年度)	210人 (2020年度)		④におけるベースラインから直近値の減少分＝地域移行された者	
				552人 (2024年度)			
⑨ 地域移行に伴う基盤整備量(65歳未満利用者数)		-	414人 (2021年度)	191人 (2020年度)		⑤におけるベースラインから直近値の減少分＝地域移行された者	
				505人 (2024年度)			
⑩ 精神病床における入院後3か月時点の退院率		63% (2014年度)	64% (2019年度)	69% (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し	
⑪ 精神病床における入院後6か月時点の退院率		82% (2014年度)	81% (2019年度)	86% (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し	
⑫ 精神病床における入院後1年時点の退院率		89% (2014年度)	88% (2019年度)	92% (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し	
⑬ 自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)		19.5 (2015年)	17.9 (2021年)	14.6 (2022年)			
⑭ 地域平均生活日数		308日 (2016年度)	323日 (2019年度)	316日 (2023年)		[中間見直し実施] 目標項目新規追加	

2 5事業

事業名	目標項目	ベースライン	直近値	目標値	比較結果	備考
(1)救急医療	① 救急要請（覚知）から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	40.6分 (全国：39.3分) (2016年)	44.1分 (全国：42.8分) (2021年度)	全国平均以下 (2023年)		
	② とちぎ子ども救急電話相談の相談件数	19,673件 (2016年度)	19,640件 (2021年度)	30,000件 (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し
	③ 病院群輪番制病院における救急患者の入院率	24.7% (2016年度)	31.6% (2021年度)	30.0% (2023年度)		
	④ 救命救急センターにおける救急患者の入院率	30.9% (2016年度)	34.9% (2021年度)	40.0% (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し
	⑤ 救命救急センターにおける小児救急患者の入院率	15.3% (2016年度)	21.9% (2021年度)	25.0% (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し
(2)災害医療	① DMAT指定病院数（LDMAT指定病院を含む）	11病院 (2017年12月)	16病院 (2023年4月)	18病院 (2023年度)		
	② 災害拠点病院以外の病院における業務継続計画の策定率	6.3% (2017年9月)	26.0% (全国値なし) (2022年12月)	全国平均以上 (2023年度)		
	③ 災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機関・団体等と連携の上、コーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施回数	— (2017年度)	0回 (2022年度)	各地域分科会で年間1回以上 (2023年度)		
(3)周産期医療	① 地域周産期医療機関の整備	4医療圏 (2017年10月現在)	4医療圏 (2023年4月現在)	5医療圏 (各周産期医療圏1か所以上) (2023年度)		
	② 新生児訪問（産後1か月以内）の実施率	6.9% (2015年度)	11.7% (2021年度)	25.5% (2023年度)		
	③ 災害時小児周産期リエゾン認定者数	2人 (2017年10月現在)	24人 (2023年3月現在)	17人 (2023年度)		
(4)小児救急を含む小児医療	① とちぎ子ども救急電話相談の相談件数【救急医療再掲】	19,673件 (2016年度)	19,640件 (2021年度)	30,000件 (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し
	② 救命救急センターにおける小児救急患者の入院率【救急医療再掲】	15.3% (2016年度)	21.9% (2021年度)	25.0% (2023年度)		[中間見直し実施] 目標値の見直し
	③ 災害時小児周産期リエゾン認定者数【周産期医療再掲】	2人 (2017年10月現在)	24人 (2023年3月現在)	17人 (2023年度)		

3 在宅医療

目標項目	ベースライン	直近値	目標値	比較結果	備考
① 訪問診療を実施する診療所、病院数	277施設 (2018年)	280施設 (2021年)	280施設 (2023年)		[中間見直し実施] 目標値の見直し
② 訪問薬剤指導を実施する薬局数	240施設 (2020年)	297施設 (2023年3月現在)	288施設 (2023年)		[中間見直し実施] 目標値の見直し
③ 訪問看護ステーションに勤務する看護師数（常勤換算・65歳以上人口10万人対）	108人 (2019年)	151人 (2022年)	124人 (2023年)		[中間見直し実施] 目標項目を再設定
④ 訪問歯科診療を実施する歯科診療所数（※NDBデータベース）	227施設 (2018年)	236施設 (2021年)	287施設 (2023年)		[中間見直し実施] 目標項目を再設定
⑤ 在宅ターミナルケアを受けた患者数	122人／月 (2018年)	173人／月 (2021年)	185人 (2023年)		[中間見直し実施] 目標項目新規追加
⑥ 介護支援連携指導を受けた患者数	609人／月 (2018年)	324人／月 (2021年)	873人 (2023年)		[中間見直し実施] 目標項目新規追加